

カンファレンス「Cultural Exchange for Peace－文化交流は、国と国の距離をどう縮めるのか」を開催

2026年1月15日（木）、立命館大学東アジア平和協力研究センターは、カンファレンス「Cultural Exchange for Peace－文化交流は、国と国の距離をどう縮めるのか」を開催いたしました。本カンファレンスは、政治や安全保障をめぐる議論が先行しがちな日韓関係において、文化という視点から未来志向の関係を描き直そうとする試みです。

登壇者には、日韓の文化交流を主導する政府機関から現職の都倉俊一文化庁長官、前任のパク・ヤンウ元文化体育観光部長官をはじめ、日韓間で共演経験を有する音楽家の河井拓氏とヤン・ソンウォン教授、国際交流やグローバル・ガバナンス分野で実績を重ねてきた佐藤治子教授、朝鮮半島を中心に長年取材を続けてきたArirang TVのオ・スヨン記者など、多彩な関係者をお招きしました。政治や外交の場で生まれる偏見や固定観念といった「壁」を、文化の力で乗り越えることを目指し、活発な意見交換が行われました。

特にカンファレンス後半のディスカッションでは、文化活動は同じ方向を向き、同じ経験を共有することで初めて対話が成立するとの指摘がなされるなど、踏み込んだ議論が展開されました。政治・外交・安全保障を主なテーマとしてきたこれまでの本センター主催のイベントとは一味異なる、視野の広がるカンファレンスとなりました。

立命館大学東アジア平和協力研究センターでは言語や分野に囚われず、様々な研究団体との学術交流を積極的に行っております。

●詳細

日時 2026年1月15日（木）16:00-18:00

会場 立命館大学衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

主催 立命館大学東アジア平和協力研究センター

後援 韓国国際交流財団（KF）

●登壇者

都倉俊一（作曲家、文化庁長官）

パク・ヤンウ（前・韓国文化観光体育部長官）

ヤン・ソンウォン（延世大学校音楽大学 教授、チェリスト）

河井拓（ピアノ三重奏団葵トリオ マネージャー、公益財団法人日本室内楽振興財団
プロデューサー）

佐藤治子（大阪大学大学院国際公共政策研究科 特任教授）

オ・スヨン（アリラン TV 主任・外交担当特派員）

中戸祐夫（立命館大学副学長、国際関係学部 教授、東アジア平和協力研究センター
センター長）

ミヒャエル・ライター（元 EU 大使、CSDS-VUB 特別教授、立命館大学客員教授）

チャダ・アスタ（立命館大学国際関係学部 准教授）

日韓国交正常化60周年記念

文化はいかに 国際政治を媒介するか

—平和と信頼の構築に向けて—

2026
1.15
火曜

16:00-18:00

衣笠キャンパス
創思館カンファレンスルーム

日英同時通訳あり

Speakers

都倉 俊一

文化庁長官

パク・ヤンウ

前文化体育観光部長官

Commentators

ヤン・ソンウォン

延世大学教授/チェリスト/芸術監督

河合 拓

室内楽プロデューサー

佐藤 晴子

大阪大学 大学院国際公共政策研究科 特任教授

チャダ アスタ

立命館大学 国際関係学部 准教授

Moderator

オ・スヨン

アリランTV アナウンサー

Opening Remarks

ミシェル ライター

元EU大使/CSDS-VUB 特別教授/立命館大学客員教授

中戸 祐夫

東アジア平和協力研究センターセンター長

Program

- 16:00 信頼は協力から生まれる
中戸 祐夫教授
- 16:10 EU対外政策における文化の位置づけ
REITERER Michael教授
- 16:25 私たちは互いに何を学べるのか
日本から見た韓国文化
都倉 俊一長官
韓国から見た日本文化
パク・ヤンウ前長官
- 17:00 ディスカッション
ヤン・ソンウォン教授
河合 拓氏
CHADA Astha准教授
佐藤 晴子特任教授
(司会: オ・スヨン氏)
- 17:45 Q&A
- 18:00 終了



当日の写真

